

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来る。	グループホームをさらに地域また家族に開かれた場所とする。	1. グループホーム利用者の外出の機会を増やし地域とのさらなる交流を図る。 2. 地域にける認知症ケア相談会など地域に開かれた相談窓口の開設。	6 か月
2	59	利用者は職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られる。	利用者の生活に「張」が生まれ日々の生活に楽しみを見出せるような支援を目指す。	より家庭的な生活を目指し、自分自身の意思でその日のスケジュールを選択できるような幅広い支援の準備を行う。	6 か月
3	66	職員は生き生きと働いている。	職員が働くことに「遣り甲斐」を感じる事が出来るような職場環境を作る。	定期的なカウンセリングとともに、職員の月間目標を個別に計画し、其の月々の評価を管理者とともに行う。	3 か月
4	63	職員は家族が困っていることや不安なこと、求めていることをよく聴いており信頼関係が構築されている。	家族との意見交換の機会を増やし、より深い信頼関係の構築に向けて努力する。	1. 家族会の開催とは別に会ご相談会の場を設け家族の抱える悩みごとや課題に対して相談を行う。 2. 家族への利用者の状況報告を最低でも1回/月に行うようにする	3 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。